

奥武蔵上名栗 穴沢ボルダー

令和元年 12月2日 RCT/K

今年の夏は実家に長期間帰省していたこともあり、実家近くの岩場開拓を除いては集中したクライミングができず、特に成果と言えるようなものは無かった。一時帰京時も、岩場やボルダーは結露が酷く、出かけても登れずに帰ってくるが多かった。そんな状況の中で仕方なく、昔見つけたボルダーの確認などをしたりしたが、このボルダーもその一つである。

このボルダーは、上名栗の森河原から天目指峠を越え南川に抜ける県道 395 号の脇にあるボルダーで、昔見た時は植林の中の湿った汚い岩ころで、全く対象にならないように思えた。今回確認しに行ってみると、周辺の植林が伐採され、雰囲気が一変しておりボルダーも昔のように苔と雑草に覆われてはいたが、よく見るとなかなか魅力的なボルダーに感じられた。

後日、やはり目的のボルダーが登れず、時間があつたので、再度訪れて、簡単に掃除をして帰宅したが、その後、9月末頃までに数回訪れて想定課題をほぼ解決した。

ボルダーは2個あり、岩質はチャートで、道路脇下の大きなA岩で2.5m程である。夏でも晴れば乾きは良いので、他が結露で登れない時の利用価値は高い。

アクセスはMAPの通りで、場所は杉の大木と大きなトランスが載っている電柱があるので、行けばすぐわかる。駐車は県道の山側にスペースがあり、アプローチは1分とかからない。なお、10月の台風19号の豪雨で森河原から少し入ったところで道路崩壊があつたが、普通車なら通行可能である。(11月3日現在)



《課題紹介》

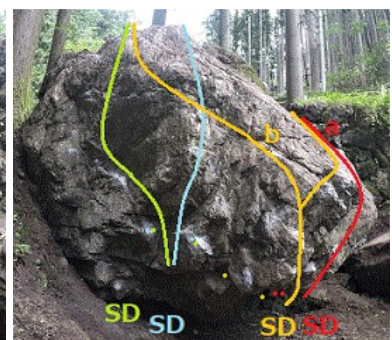
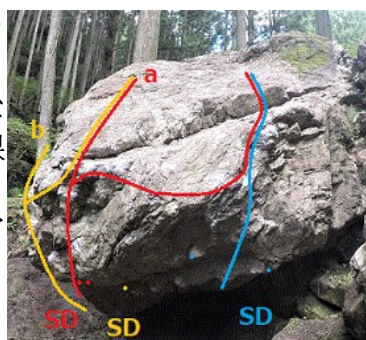
●A岩

道路すぐ下の岩で、下がハンクしているが、ハンクを越えるとスラブになってしまうので、ちょっと物足りないのは否めない。それでもラインの取りようで長めの課題もできるので、いろいろと遊べる。

ムーブ的には、黄緑、オレンジ、赤ラインが面白い。

トポ左: 下流側

右: 川側



●B岩

川の横にある小さなボルダーで周囲に課題がある。

川側の黄緑と赤ラインがムーブがあつて面白い。

トポ左: 川側

中央: 道路側

右: 上流側

